

第1学年 社会科学学習指導案

平成27年12月9日(水)

1 単元名 ヨーロッパ州 一国どうしの統合による変化ー

2 単元について

(1) 生徒観

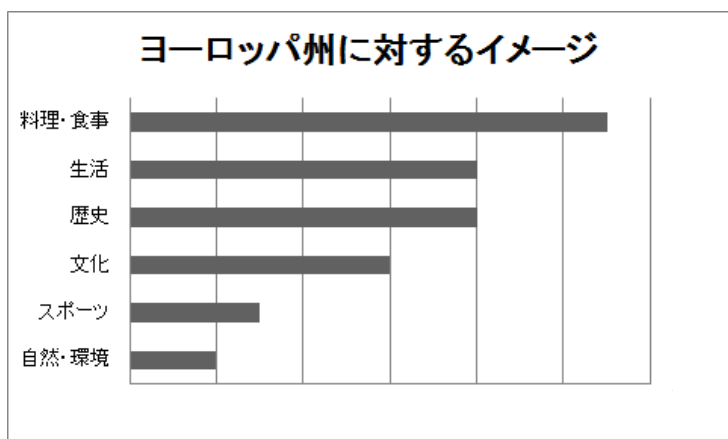
本単元に係る本学級の実態調査を行った。

ア 「ヨーロッパ州」に対して、あなたはどのようなイメージをもっていますか。

(「イメージ」という抽象的な回答を求めたため、ヨーロッパで捉えられない場合は、ヨーロッパに属する特定の国を連想しても良い事とした)

[結果]

上がったイメージを整理し、分類したところ、以下のような結果となった。



	分類	おもな内容
1	料理・食事	高級な料理がたべられる おいしい食事が多い(ピザ・パスタ・フランス料理など)
2	生活	豊かな生活をしているイメージ 貴族がいる
3	歴史	世界遺産が多い・昔からの建物が残っている 過去に植民地を多くもっていた
4	文化	ブランドの本場がある おしゃれな衣服をきている
5	スポーツ	サッカーがさかん 日本人の選手が活躍している場所
6	自然・環境	自然が豊富 環境へ配慮している

イ 「EU」という組織について

① 「EU」をあなたは知っていますか。

(言葉だけ知っていて、内容がわからなくても「知っている」に入れることとした)

[イー①の結果]

- ・知っている……66%
- ・知らない……34%

② (①で「知っている」と回答した人のみ) EUはどのような組織ですか。

[イー②の結果]

- ・国同士の行き来が自由 (4%)
- ・アメリカに対抗するために作られた組織 (4%)
- ・ヨーロッパ諸国の連合体 (4%)
- ・国同士の治安を維持するための組織 (4%)
- ・名前だけ知っていて、詳しくはわからない 等 (84%)

アンケートの結果から、本学級の生徒のヨーロッパ州に対する意識について2つのことがわかる。まず、1つ目のアンケート結果から、ヨーロッパ州に対して、多くの生徒は料理や生活・文化などを通じて知っており、おおむね肯定的なイメージをもっていることがわかる。食事はおいしく、生活は豊かでありブランドの本場として華やかな場所と考えているため、このような肯定的な言葉が並ぶのだと考えられる。また歴史やスポーツなどを挙げた生徒も見られ、生活や文化、スポーツといった、中学生にとって身近な話題について、この地域に対する関心の高さが感じられた。

しかし、2つ目のアンケート結果から、現在のヨーロッパには欠かせない「EU」の存在については「知らない」あるいは「知っている」ものの言葉だけという生徒が大半であることがわかった。現在の国際政治の報道をみると、アメリカや中国、ASEANなど、日本と関係が深い国々の情報が多いものの「EU」に関連のある報道も多く、ニュースに耳を傾けていれば「EU」の言葉に触れる機会が多いはずである。また、関心があれば「EU」とはどんな組織なのかについて調べてみる生徒も出てくると考えられる。しかし、「EU」の組織についてイメージができていない生徒（知っていて、かつ、その組織について説明できる生徒）は、わずか1割と少ない。この結果から、本学級の生徒の国際政治に対する知識は、かならずしも高くはないことが改めてわかる結果となった。

以上のことから、本学級でヨーロッパ州について学習を進めていく際には、生徒が関心をもちやすい生活や文化といった情報を活用しながら、規模が比較的小さい国が多いながらも、複数の国がまとまることで国際的な影響力を増した「EU」について関心をもたせ、学習の意欲付けを図りたいと考えている。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の地理的分野の内容(1)「世界の様々な地域」のウ「世界の諸地域」(イ)「ヨーロッパ」を受けて設定したものである。この単元では、学習する各州の特色ある地理的事象を基に主題を設定し、その追究を通してそれぞれの州の地域的特色を理解させることをねらいとしている。つまり、この単元の学習は、州ごとの地域的特色を理解させることが目的であり、単元の早い段階で、地域的特色を理解させるために効果的な主題を設定することが重要となる。

本単元で学習するヨーロッパ州は、歴史的には、長い間世界をリードしてきた地域といえる。中でも大航海の時代と呼ばれる16世紀から、進んだ科学技術や市民社会によっていち早く国民国家を形成したイギリスやフランスなどは、国力を増大させ、政治や経済、文化といった面で世界中に影響を及ぼしてきた。その後、20世紀に起こった2度の世界大戦を経て、世界の政治・経済の中心はアメリカ、ソ連に移った。ヨーロッパ諸国は東西の対立を経て団結を深め、世界への影響力を高めると同時に地域の平和を図るためにEUが結成された。

EUは、見方によってはヨーロッパ諸国による、世界への影響力を高めるための試みと見ることができる。この試みは、ヨーロッパ州という比較的狭い地域であり、気候や食べ物もそれほど差異がないという地域性、いずれの国もギリシャ・ローマ文明を祖とし、キリスト教社会であるという共通性など、ヨーロッパ諸国がもつ地域的特色を生かした動きと捉えることもできる。また、2度の世界大戦を起こしたヨーロッパ諸国が、平和社会を実現するための一つの手段とも考えられる。現在、このヨーロッパ諸国の地域統合による動きは、アフリカのAUや北米のNAFTA、アジア太平洋地域のAPECなど様々な地域に影響を与えている。こうしてみると、現在でもヨーロッパの政治は、進んだ環境への意識とともに先進性を失っていない。しかし、その先進地域であるが故に、近年、地域統合の課題も多く見られるようになってきた。経済格差によるギリシャ問題、移民を積極的に受け入れ

てきたことによる宗教対立、またそれに伴う各国の市民による少数排斥の風潮など、様々である。

本単元では、ヨーロッパ州がもつ地域的特色を明確に捉えさせ、その上で生み出された地域統合とその課題をテーマとし、現在どのような課題があり、その課題を解決するためにどのような動きがあるのかを考えさせていきたい。先進地域であるヨーロッパが抱える課題とその解決への動きが、自分たちアジア地域に役立つことになると考えさせ、自分のこととして捉えさせていきたいと考えている。

(3) 指導観

本校の研究主題は「思考力、判断力、表現力を育てる学習指導の工夫～学び合い、高め合う生徒の育成を目指して～」である。本校社会科の努力点の一つにも、「作業学習や課題解決学習等を取り入れ、生徒の主体的な学習の伸長を図る」ことが挙げられている。これらを受けて、1年社会科では「学び合い、高め合う生徒の育成」を目標に掲げ、授業でのグループ活動やペア活動といった生徒同士で学び合う機会を積極的に設け、様々な視点から課題を追究できる学習に力を入れてきた。

本単元においても、本校の研究主題との関わりから、次の3点に重点を置いた指導を行う。

①生徒の「学び合い」を重視し、学び合い活動による理解力を深める。

社会は、一つの事象から多くの背景や要因、またその結果を捉えさせ、考えさせる教科である。また、そこに社会のおもしろさが含まれている。このおもしろさを最大限引き出し、考えさせる形態こそが、生徒同士の「学び合い」である。しかし、実際には進捗の関係や毎時間の進み具合の影響で、教師による一斉授業を多用してしまいがちとなる。実際、私も今までの授業を振り返ると、一斉授業を多用する傾向が見られた。そこで、本単元ではあえて生徒の「学び合い」を重視し、毎時間学び合いの時間を確保しつつ、学習を進めていく。そのためには、毎時間の学習内容を厳しく精査し、かつ形態も工夫する必要がある。そして、生徒の「学び合い」が学習内容の理解力を深める鍵と考え、取り組んでいく。

②毎時間の学習で扱う「キーワード」から、単元全体の課題を追究する。

社会の授業では、毎時間「テーマ（めあて）」を立て、学習に取り組んでいる。しかし、このテーマは毎時間の学習課題であり、単元全体のテーマとの関連性について捉えづらい。何よりも生徒がこの関連性について認識しづらいことが難点である。

そこで、毎時間「テーマ（めあて）」以外に、導入段階で学習内容のキーワードは何かを考えさせ、まとめ段階で改めて提示することで、学習内容を捉えやすくする工夫を行う。この短い単語からなるキーワードを単元全体のテーマと関連するものとするすることで、単元のまとめの時間で、生徒が既習内容を踏まえやすく、また単元全体のテーマを追いやすくなると考えている。

③資料の読み取りや活用の技能を育成する。

社会では、根拠にもとづいた思考・判断・表現が求められる。しかし、社会では根拠の多くは資料に頼ることになる。そのため、資料を正しく読み取るだけでなく、その背景や要因について仮説を立てる技能や、複数の資料との比較・関連付けなど、資料を活用する技能の育成が不可欠である。中学校3年間の学習を踏まえ、1年生の現段階では、資料の読み取りを行い、活用する機会を増やすことで育成の環境を整え、2・3年生の学習につなげていきたいと考えている。

3 単元の目標

ヨーロッパ州の地域的特色を捉え、地域統合の動きとその課題について理解させる。

4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパを概観する中で、低下した地位と国家間で統合の動きがあることに関心を持ち、学習テーマを意欲的に作成し追究しようとしている。(第2時) 	<ul style="list-style-type: none"> EU統合後の変化について、工業・人々の生活・交通の三つの視点からまとめ、適切に発表している。(第4時) EUの課題について、資料にもとづき様々な視点から把握し、多面的・多角的に考察している。(第5時) 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの統計資料から、地域的特色について資料をもとに予想することができる。(第1時) ヨーロッパの言語や宗教などの資料から、共通性があることに気付き、地域統合の背景になっていることに気付くことができる。(第3時) 	<ul style="list-style-type: none"> 4つのキーワードを捉え、ヨーロッパ州の地域的特色について理解し、その知識を身に付けている。(第6時)

5 指導と評価の計画

時	主な学習内容 [キーワード]	学習活動	・評価規準の具体例 (評価の観点)
第1時	1 ヨーロッパ州をながめて (1) 【地域性 (自然・地形)】 <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの概要 3つの円グラフから (面積・人口・GDP) 温暖な気候 偏西風と北大西洋海流 広い平野 東ヨーロッパ平原 地形の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの特色について、3つの円グラフ (面積・人口・GDP) から分かることを考え、予想する。 ヨーロッパの緯度や雨温図から、気候の特色について考える。 ヨーロッパの地形の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの統計資料 (面積・人口・GDP) から、地域的特色について資料をもとに予想することができる。(技能)
第2時	2 ヨーロッパ州をながめて (2) 【地域性 (産業)】 <ul style="list-style-type: none"> 多くの国々 地域にあった農業 近代工業の発展 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパのイメージの確認。 雨温図や農業地域の資料から、農業と地域の関連性について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパを概観する中で、低下した地位と国家間で統合の動きがあることに関心を持ち、学習テーマを意欲的に作

	<ul style="list-style-type: none"> ・最近のヨーロッパ情勢 ・学習テーマの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近のヨーロッパ情勢について、新聞記事の見出し等を活用し、地位の変化について、調べる。 	<p>成し追究しようとしている。 (関心・意欲・態度)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>単元を貫く学習テーマ 統合によって、ヨーロッパにくらす人々の生活はどのように変化したの だろう。</p> </div>			
第 3 時	<p>3 ヨーロッパ文化の共通性 〔共通性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる地域で使われる言語の共通性 ・キリスト教世界の共通性 ・異なる民族同士の共通の文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや、キリスト教の習慣から、ヨーロッパの文化の特色について考える。 ・異なる民族間でも、共通な文化を持ち、生活する人々の努力について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの言語や宗教などの資料から、共通性があることに気づき、地域統合の背景になっていることに気付くことができる。(技能)
第 4 時	<p>4 進むヨーロッパ統合 〔先進性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国境をこえた統合・EU ・EU域内の工業 ・統合の進展と人々の生活 ・EUが与えた世界への影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治的な面や経済的な面からEUが必要となった背景について考える。 ・EU統合後、人々の生活はどのように変化したのかについて、工業・人々の生活・交通の3点に分けて考え、資料から調べまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EU統合後の変化について、工業・人々の生活・交通の三つの視点からまとめ、適切に発表している。 (思考・判断・表現)
第 5 時 本 時	<p>5 ヨーロッパの課題 〔域内の差〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EUの抱える課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・EUが抱える課題について、様々な資料や新聞記事などから考えまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EUの課題について、資料にもとづき様々な視点から把握し、多面的・多角的に考察している。 (思考・判断・表現)
第 6 時	<p>6 ロシア連邦とヨーロッパ州のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア連邦との関わり ・既存の学習である4つのキーワードから、ヨーロッパ州の地域的特色について、 	<ul style="list-style-type: none"> ・〔地域性、共通性、先進性、域内の差〕の4つのキーワードからヨーロッパ州の特色についてワークシートにまとめ、 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つのキーワードを捉え、ヨーロッパ州の地域的特色について理解し、その知識を身に付けている。

	まとめる。	発表する。 ・単元テストの実施	(知識・理解)
--	-------	--------------------	---------

6 本時の学習 (5 / 6時)

(1) 本時の目標

- ・EUの課題を、EUの現状から把握し、資料にもとづき調べる。
- ・EUの課題が、EUがもつ特殊性から発生していることに気付く。その背景について、資料とニュースをもとに考える。

(2) 本時の評価規準

- ・EUの課題について、資料にもとづき様々な視点から把握し、多面的・多角的に考察している。
(思考・判断・表現)

(3) 本時の展開

段階	○学習内容	・学習活動 [グループ学習]	指導上の留意点 ◎評価規準 (評価の観点), [評価方法]	資料等
導入	○前時の復習 EUが人々の生活に与えた影響の確認 ○問題提起 EU離脱の動きの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・EUの誕生により、域内の交流が活発化し、人々の生活に良い影響を与えたことを確認する。 ・映像資料「EUって何？」を視聴する。 ・写真や資料から、拡大を続けたEUに、離脱の動きが見られることから、EUが課題を抱えていることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・EUを肯定的に捉えるようにする。 ・資料からEUには、課題があることに気付かせる発問をする。 ・資料提示には電子黒板を使用し、インパクトを持たせる。 	映像資料 資料
学習課題 なぜ、現在のEUに、離脱の動きが出てきたのだろうか？				
展開	○仮説 学習課題に対して仮説を立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、EUに離脱の動きが出てきたのかについて、予想し、仮説を立てる。 [予想される生徒の反応] <ul style="list-style-type: none"> ・経済格差 ・宗教の違い ・移民問題 ・生活習慣 ・歴史的背景 ・自然環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・離脱の理由を予想させ、仮説を立てることで、EUには課題があることを明確にさせる。 	
本時のキーワード EUの課題は () ※ () 内は「域内の差」				

	<p>○仮説について 学習課題の追究 EUが抱える課題の把握</p> <p>○発表 調査内容の発表</p> <p>○検証 仮説の検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で①「EUの課題」②「根拠となる資料」を調べ、ワークシートにまとめる。 ・学習班（4人班）をつくり、それぞれが調べた内容について確認し、③「その背景」について話し合う。 〔グループ学習〕 ・資料をもとに調べた課題とその背景について、話し合った内容を発表する。 〔グループ学習〕 <p>〔予想される生徒の反応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人あたりの工業生産額の違い ・少数のイスラム教徒への排斥 ・域内各国の失業率の差異 ・域内を移動する労働者の動向 ・民族や言語、環境の違い <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードに入る言葉について、考え、発表をもとに、本時の学習課題についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「根拠となる資料」については、調査の進み具合に応じて、資料に目が行くようなヒントを提示する。 ・背景については、資料を確認するよう机間指導にて支援する。 ・最近のニュース等も思い出させ根拠付けさせる。 ・電子黒板に映し出された資料を使い、発表させる。 ・発表時間は各班1分以内とする。 <p>◎EUの課題について、資料にもとづき様々な視点から把握し、多面的・多角的に考察している。 (思考・判断・表現) 〔ワークシート・発表〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容を元に、キーワードに入る言葉を考え、仮説を検証する。 	<p>資料集 地図帳 電子黒板 タブレット</p>
<p>ま と め</p>	<p>○本時の学習の まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を経て、自分が感じたことや考えたことについて、まとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表後に、教師が本時の学習を振り返るまとめを行う。 	